

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月30日

上場会社名 株式会社 Genki Global Dining Concepts 上場取引所 東
コード番号 9828 URL <https://www.genki-gdc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東 光法
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 上野山 素雄 (TEL) 03-6824-9200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	総販売額		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	98,956	10.9	50,277	9.0	5,463	45.7	5,570	45.1	3,588	46.5
2024年3月期第3四半期	89,199	13.8	46,130	14.7	3,749	191.1	3,839	193.7	2,450	143.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,690百万円(44.5%) 2024年3月期第3四半期 2,554百万円(130.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	203.23	—
2024年3月期第3四半期	138.76	—

※ 総販売額は、売上高からフランチャイズ契約先からのロイヤリティ収入を除き、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の店舗売上高を合算したものであります。

(注) 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,472	15,818	45.9
2024年3月期	32,774	13,536	41.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 15,818百万円 2024年3月期 13,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	50.00	—
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり配当金について、第2四半期期末は分割前、期末は分割後の金額を記載し、また、年間配当合計は「—」を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,800	8.0	6,300	28.1	6,400	26.0	4,100	25.7	232.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	17,765,816株	2024年3月期	17,765,816株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	107,621株	2024年3月期	108,891株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	17,657,686株	2024年3月期3Q	17,656,103株

(注) 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額について、従来、千円単位で掲載しておりましたが、第1四半期連結会計期間より百万円単位をもって掲載することに変更しました。なお、比較を容易にするために、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化に加え、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復の動きがみられました。一方、先行きにつきましては、米国の政策動向や急激な為替相場の変動の影響に加え、不安定な国際情勢及び中国経済の懸念などのリスク要因が多く、国内、海外経済ともに依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社は2024年11月に、新たに「GENKI VISION 2030 中期経営計画（2024年度～2027年度）」を策定いたしました。外部評価が高い商品力と、良化した財務状況を背景とした積極投資を軸に「新たな成長ステージ」として、グローバル市場及び国内市場の双方において戦略的な事業展開を実施し、2030年度に連結売上高1,000億円、営業利益100億円を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高502億7千7百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益54億6千3百万円（前年同期比45.7%増）、経常利益55億7千万円（前年同期比45.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億8千8百万円（前年同期比46.5%増）となり、中間連結会計期間に続き、当第3四半期連結累計期間においても、過去最高の業績となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より「海外事業」としていたセグメント名称を「グローバル事業」に変更しております。当該名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(国内事業)

国内事業につきましては、「ジョブチューン」や「THE神業チャレンジ」（TBS系）等の全国向けテレビ番組で数多く紹介されたことにより、ブランドの認知度向上及び来店客数が増加したことに加えて、高品質かつ高付加価値商品の訴求及び販売価格の適正化を行ったことで、客単価の増加に繋がりました。また、業務効率化や外部環境の変化に合わせて求められる省人化、省力化、自動化等のDXを社内横断プロジェクトの形で推進しております。

店舗展開につきましては、4店舗を出店し、2店舗を退店したことにより、国内の総店舗数は、187店舗となりました。また、改装につきましては、店舗サービス及びお客様の利便性向上のため、4店舗実施いたしました。

この結果、国内事業の経営成績は、売上高435億4千8百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益40億6千7百万円（前年同期比69.0%増）となり、中間連結会計期間に続き、当第3四半期連結累計期間においても、過去最高の業績となりました。

なお、国内店舗は全て直営店舗であります。

(グローバル事業)

グローバル事業につきましては、2024年10月にタイに1号店（フランチャイズ店舗）をオープンしたほか、フランチャイズ店舗の収益力強化のため、海外店舗に赴き、現地で営業面でのサポートや現地のニーズに合った商品の提案、新規エリア進出に向けた市場調査を積極的に行ってまいりました。また、子会社につきましては、米本土の進出及びハワイ州におけるラーメン事業のオープンに関する準備を着実に進めてまいります。

店舗展開につきましては、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗で、9店舗出店し、8店舗退店したことにより230店舗となり、米国子会社の11店舗とあわせて、海外の総店舗数は241店舗となりました。

この結果、グローバル事業の経営成績は、売上高67億2千8百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益13億9千5百万円（前年同期比4.0%増）となり、国内事業同様に過去最高の業績となりました。

グローバル事業の売上高の内訳は、米国子会社の店舗売上高41億8千万円、フランチャイズ契約先への食材等販売による売上高12億3千4百万円、フランチャイズ契約先からのロイヤリティ収入(海外店舗売上高の一定率等)13億1千3百万円等であります。

なお、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の売上高の合計は、554億7百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の総販売額は、989億5千6百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

なお、四半期連結累計期間における店舗売上高及び当該期間末の店舗数の状況は、以下のとおりであります。

	2024年3月期第3四半期 (前第3四半期)	2025年3月期第3四半期 (当第3四半期)	増減
店舗売上高			
国内	39,610百万円	43,548百万円	3,937百万円
海外	49,582百万円	55,407百万円	5,825百万円
店舗売上高合計	89,193百万円	98,955百万円	9,762百万円
店舗数(四半期)			
国内	184店	187店	3店
海外	238店	241店	3店
店舗数合計	422店	428店	6店

(注) 店舗売上高及び店舗数の海外は、海外子会社の店舗売上高及びロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の売上高或いは店舗数を合算しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億9千8百万円増加し、344億7千2百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加8億8千万円、有形固定資産の増加6億3千6百万円があったこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億8千3百万円減少し、186億5千4百万円となりました。これは主に、買掛金の増加10億5百万円があった一方で、長期借入金（1年内返済予定を含む）の減少9億2千2百万円及びリース債務の減少1億7千6百万円があったこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億8千1百万円増加し、158億1千8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上35億8千8百万円があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は4.6ポイント増加し、45.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。))は、前連結会計年度末に比べ3千3百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には105億8千万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、45億円(前年同四半期は42億2千1百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益55億4千万円、減価償却費14億4千4百万円による増加があった一方で、棚卸資産の増加額8億6千9百万円、法人税等の支払額17億9千1百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億7千7百万円(前年同四半期は5億6千3百万円)となりました。これは主に、店舗の新設等による支出16億9千8百万円があった一方で、差入保証金の回収2億3千2百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、30億6千1百万円(前年同四半期は20億3千5百万円)となりました。これは主に、配当金の支払14億1千2百万円、長期借入金の返済9億2千3百万円、リース債務の返済7億2千4百万円を行ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高の進捗状況、費用増加の影響を勘案した結果、2024年10月30日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

第4四半期連結会計期間以降の費用の増加要因として、米を中心とした原材料価格及びエネルギーコストの上昇、最低賃金上昇に伴う人件費の増加を想定しております。売上高につきましては、新規出店を複数予定し、認知度向上や適正な販売価格に努めてまいります。また、1月に国内全店舗の休業を2日間実施し、売上高の減少要因となるものの、従業員が気持ちよく働ける職場環境の整備に今後も積極的に取り組んでまいります。

2025年3月期の売上高及び各段階利益は、通期の業績予想に対して順調に推移しておりますが、今後の業績動向に応じて、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに公表する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,547	10,580
売掛金	2,505	2,736
商品及び製品	572	1,453
原材料及び貯蔵品	93	83
その他	556	709
流動資産合計	14,275	15,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,540	12,089
土地	651	651
リース資産	7,649	7,067
その他	3,970	5,242
減価償却累計額	△12,375	△12,978
有形固定資産合計	11,436	12,072
無形固定資産		
	335	250
投資その他の資産		
差入保証金	4,460	4,361
その他	2,267	2,225
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,726	6,586
固定資産合計	18,499	18,909
資産合計	32,774	34,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,367	3,372
1年内返済予定の長期借入金	1,231	1,232
未払法人税等	1,049	1,205
賞与引当金	255	399
資産除去債務	29	-
その他	5,725	4,904
流動負債合計	10,657	11,114
固定負債		
長期借入金	2,011	1,088
リース債務	5,623	5,447
資産除去債務	903	961
その他	40	42
固定負債合計	8,580	7,540
負債合計	19,237	18,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,398	2,402
利益剰余金	10,745	12,921
自己株式	△77	△77
株主資本合計	13,166	15,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	370	470
その他の包括利益累計額合計	370	472
純資産合計	13,536	15,818
負債純資産合計	32,774	34,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	46,130	50,277
売上原価	19,091	20,162
売上総利益	27,038	30,114
販売費及び一般管理費	23,289	24,651
営業利益	3,749	5,463
営業外収益		
受取利息及び配当金	46	53
受取賃貸料	11	6
受取手数料	114	113
その他	35	13
営業外収益合計	208	187
営業外費用		
支払利息	67	53
賃貸費用	22	1
和解金	20	-
その他	8	24
営業外費用合計	117	80
経常利益	3,839	5,570
特別損失		
固定資産売却損	-	6
固定資産除却損	16	7
賃貸借契約解約損	3	16
特別損失合計	19	29
税金等調整前四半期純利益	3,820	5,540
法人税、住民税及び事業税	1,322	1,943
法人税等調整額	47	8
法人税等合計	1,370	1,951
四半期純利益	2,450	3,588
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,450	3,588

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,450	3,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
為替換算調整勘定	103	100
その他の包括利益合計	104	101
四半期包括利益	2,554	3,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,554	3,690

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,820	5,540
減価償却費	1,507	1,444
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	153	143
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△10	-
受取利息及び受取配当金	△46	△53
支払利息	67	53
固定資産除売却損益 (△は益)	16	7
賃貸借契約解約損	3	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△530	△230
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△590	△869
仕入債務の増減額 (△は減少)	433	998
その他	48	△761
小計	4,875	6,290
利息及び配当金の受取額	13	54
利息の支払額	△67	△53
法人税等の還付額	36	-
法人税等の支払額	△637	△1,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,221	4,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△743	△1,553
無形固定資産の取得による支出	△24	△18
差入保証金の差入による支出	△22	△126
差入保証金の回収による収入	299	232
その他	△72	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563	△1,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△922	△923
リース債務の返済による支出	△847	△724
配当金の支払額	△264	△1,412
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,035	△3,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	71
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,681	33
現金及び現金同等物の期首残高	7,688	10,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,369	10,580

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,617	6,513	46,130	—	46,130
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	39,617	6,513	46,130	—	46,130
セグメント利益	2,406	1,342	3,749	—	3,749

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間の期首より各報告セグメントの業績を的確に把握するため、全社費用を各報告セグメントに配賦する際の配賦方法を予定配賦から実績配賦に変更しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,548	6,728	50,277	—	50,277
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	43,548	6,728	50,277	—	50,277
セグメント利益	4,067	1,395	5,463	—	5,463

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメント名称の変更)

第1四半期連結会計期間より「海外事業」としていたセグメント名称を「グローバル事業」に変更しております。当該名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。